

令和5年度 第3回 都田小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年12月15日（金） 13時15分から15時30分まで
- 2 開催場所 都田小学校会議室
- 3 出席委員 森上 茂美、波多野 千津子、鈴木 智江、影山 善久、内山 眸
- 4 欠席委員 小林 宗吉、木宮 敬信、桐生 大輔、山下英治
- 5 オブザーバー 谷野 弘勝（都田協働センター所長）
- 6 学 校 松下 欣美（校長）、井島 健蔵（教頭）、地福 清香（教務主任）、
杉浦 ひとみ（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 杉浦 ひとみ
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、内山委員から影山委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

（1）学校評価の結果と今後の取組みについて

【議題】主に今後に行う取組みや必要な支援について

（2）発表（各グループ）

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校評価の結果と今後の取組みについて

議長の指示により、教務主任の地福から、よりよい都田小づくりのための学校アンケート実施結果の中の、主に4つの力「考える力、チャレンジする力、聞く・伝える力、つなげる力」について、低学年、中学年、高学年の児童、保護者、教師の評価を基にパワーポイントにて説明があった。

（2）発表（各グループ）

今後の家庭や地域、学校における必要な取組みについて熟議した結果、委員から以下のような発言があった。

・「聞く・伝える力」について、家庭で両親がきちんと話を聞いてあげることで、子供たちは話すこと、聞くことの楽しさを感じられるのではないかと。また学ぶ姿勢は人の話を聞くことからスタートであり、何かをしながら人の話を聞くのではなく、手を止めて聞くという姿勢が大切。（森上委員）

・「聞く・伝える力」について、学校以外で子供たちが広場などで遊ぶ姿をよく見かけるが、そのような場所での子供たち同士の切磋琢磨はあるのか。（波多野委員）

・4つの力以外の中の「学校体制・その他」の中の「家の人は、良いところや頑張ったことを褒めたり、できること、得意なことが増えるように励ましたりしてくれる。」の項目は100パーセントであるべきところが、そこに達していない。子供にとって一番聞い

てもらいたい人に聞いてもらえないと、学校での態度も人の話を聞くより、自分の話を話す事の方が多くなるのではないか。(内山委員)

・「チャレンジする力」の数値が下がっていることについて、子供たちはチャレンジしている。忘れてしまっているだけではないか。家庭や学校で子供たちが迷っていることや、不安に思っていることを聞いてあげ、できるようになった事を伝えてあげることが大切であり、できていないことよりも、できていることに着目して褒めてあげるようにしたらどうか。(内山委員)

・「学校体制・その他」の中の「学校の先生は、自分の話を聞いてくれたり相談に乗ってくれたりする。」のアンケート結果が低いことから、人の話を聞けない子供たちが増えているのではないか。家庭でも学校でも大人が人の話を聞くことが大切なのではないか。また授業参観を通して、子供たちの伝える力がついてきていることが本当にすごいことだと感じた。聞く力の数値が低いことに着目するより、伝える力がついてきていることにもっと着目した方がよい。(鈴木委員)

・「チャレンジする力」では、めあてを立て、そこに向かって努力することは低学年の子供たちにとってはなかなか難しいことなのではないか。高学年になって取り組み方が分かってくるのではないか。(影山委員)

12 その他報告事項等

・学校支援コーディネーターの影山委員より、6年生を対象に地域で活躍する様々な職業の方から話を聞く機会を設けた事について発言があり、将来を見据える上でビジョンを立てる良い機会になったのではないかと報告があった。

・今回オブザーバーとして協議に参加した都田協働センター所長の谷野様より、協働センターで毎年行われる「二十歳の集い」に集まった子供たちの成長した姿についての紹介があり、協働センターを地域社会にとって、より身近な場所にしていきたいとの発言があった。

司会から、次回会議は2024年3月1日(金)午後1時~午後3時、都田小学校会議室で開催する旨の報告があった。